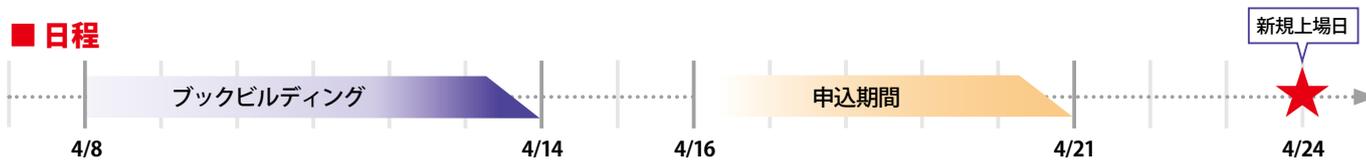


IPO銘柄 三機サービス (6044・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6044	100株	公募: 25.00万株 売出: 25.00万株 (OA7.50万株)	1,440円~1,540円 (10.1倍)	野村証券

■ 日程



空調機器などのメンテナンス事業を総合的に手掛ける

■ 事業内容

空調機器、厨房機器、電気設備などのトータルな設備メンテナンスを手掛ける。空調機器メンテナンス事業では、パナソニックグループのメーカーサービス指定店として大型空調機器のメンテナンスを行うほか、業務用設備機器、システムの販売、施工、サービスを行うパナソニックES産機システムと年間保守契約を結び、定期点検、修理対応を行う。トータルメンテナンス事業では、専門性の高い技術力を有するメンテナンスエンジニアと連携した24時間365日体制のコールセンターを有し、総合ビル管理を含む建物設備のメンテナンスすべてを一括して請け負う。15年5月期第2四半期累計（14年6～11月）の売上高構成比は、空調機器メンテナンス事業が38.5%、トータルメンテナンス事業が61.2%、その他が0.3%となっている。

■ 特徴

トータルメンテナンスは総合ビル管理を含む建物設備のメンテナンスすべてを一括して請け負うことができ、顧客にとってはメンテナンスコストや管理コストの削減、省エネ化というメリットがある。多店舗展開、多棟展開を行う飲食業、小売業、イベント施設、医療・介護・福祉施設など多岐にわたる顧客を抱え、自社開発のウェブ管理システムを使用することで、顧客の店舗管理者はメンテナンス状況をリアルタイムで把握することができる。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年5月期の連結経常利益は前期比11.6%増の3億2,300万円を計画する。空調管理メンテナンスで管理機器台数の増加に伴う定期メンテナンス増や設備更新工事の大型案件が寄与するなど、堅調な推移となっている。なお、期末には1株45円配当を実施する予定。

■ 定性分析

兵庫県姫路市に本社を置く地方企業。業績面に安定感は強いものの、独自成長のイメージを描きづらいビジネスモデルはIPOマーケットで人気化しづらい傾向がある。ただ、5月期決算企業で予想配当利回りが約3%あり、これが株価の下支えの材料となる可能性がある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は9億円弱。ベンチャーキャピタル保有株はなく、公開株式以外の株券が市場に流通しづらい構図となっていることから需給面に不安は乏しい。大量の初値買いを集めるタイプの案件ではなく、比較的穏健なスタートとなりそうだ。
(小泉健太)

■ 類似企業

三機サービス(6044・JASDAQ)	予想PER10.1倍 (仮条件上限)
シンプロメンテ(6086・マザーズ)	予想PER25.9倍
日本空調サービス(4658・東証1部)	予想PER14.2倍

■ 引受証券

野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、みずほ証券、高木証券、エイチ・エス証券、エース証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年5月期(実績)	5,419	—	149	—	166	—	134.7	—
14年5月期(実績)	5,481	1.1	289	94.0	164	▲1.2	128.4	—
15年5月期(会社予想)	5,863	7.0	323	11.6	200	21.7	152.1	45.0

※ 13年5月期から連結決算。15年1月に株式分割(1株→5株)を実施。13年5月期、14年5月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年5月期	247,619	2,207	289	122	231.7	13.0	85.8
14年5月期	257,619	2,167	467	127	361.4	21.5	43.7

※ 13年5月期および14年5月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	中島 義兼	649,750	42.24
2	中島産業	325,000	21.13
3	三機サービス従業員持株会	239,345	15.56
4	中島 薫子	105,000	6.83
5	中島 諒子	97,500	6.34
6	中島 悠希	25,000	1.63
6	中島 杏菜	25,000	1.63
8	北村 源英	15,000	0.98
8	大橋 一彦	15,000	0.98
8	中田 安紀	15,000	0.98

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	中島 義兼
取締役 サービス本部長	北村 源英
取締役 サービス本部副本部長 兼 東京センター所長	大橋 一彦
取締役 トータルメンテナンス本部 長 兼 環境部長	中田 安紀
取締役 管理本部長 兼 総務人事 部長	竹谷 隆明
取締役	小田 重廣
常勤監査役	松本 邦雄
監査役	北岡 昭
監査役	大森 敏朗

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。